

長野県革新懇ニュース

2022年6月号
発行日6月10日
会費 2,000円
購読料 3,000円(送料込)
振替 00510-3-15971

276

発行 日本と信州の明日をひらく県民懇話会
(長野県革新懇) 発行人: 山口光昭 編集長: 高村裕
〒380-8790 長野市県町593 高校教育会館内
TEL: 026-234-1231 FAX: 026-234-2219 メール: mail@nagano-kakushinkon.com

====今号の主な記事====

- 1面 杉尾秀哉さんインタビュー
- 2面 1面続き、「近現代信州の歴史回廊」 桂木恵一さん
- 3面 参院選勝利へ! 松本で県民の集い
読者の声、漢字パズル
- 4面 雨よ降れ「不在」という罪 窪島誠一郎さん
写真で辿る信州と戦争 北原高子さん
映画評論『メド ヲバウガラ イユ』 内山到さん

長野県革新懇

検索



1957年生まれ。1981年東京放送(TBS)入社、1993年JNN「ニュースの森」キャスター、1998年JNNワシントン支局長、2004年報道局社会部長、番組に多数出演。2016年の参議院選挙・長野選挙区で初当選。

歴史的な参議院選挙

なんととしても勝ち抜く

杉尾 秀哉 さん

(参議院議員)

一人区では野党は
まともなべき

Q 今回の参議院選挙に臨むお気持ちをお聞かせください。

6年前の参議院選挙で全国に先駆けて市民と野党の共闘が成立し、「長野モデル」ということで、多くの皆さんに関心を持っていただきました。あの時に私が「長野モデル」と申し上げたのは、「お任せの民主主義」ではなく「参加型の民主主義」が必要だと思っていましたから、市民の皆さんや野党の皆さんが文字通り手を携えて選挙に参加いただいたことは、大きなターニングポイントになったと思っています。あの時に62・8%という日本で一番高い投票率と、57万4052という得票をいただいたことは快挙だと思っています。それ

以降、19年と21年の参議院選挙で3連勝しましたが、逆に去年秋の衆議院選挙では同じ構造を作ったけれども、長野選挙区では一つしか勝てなかった。全国でも数を減らしましたので、市民グループの皆さんも、立憲民主党もちょっと迷いが出たと言います。少し腰が定まらないような状況が生まれたわけです。選挙中にもさまざまにネガティブキャンペーンが張られたし、私自身も共産党と近くなりすぎるといったような声を聞きました。

ただ、一人区では一対一でないと勝てないことは明らかです。これ以上与党もしくは与系系の数を増やしたら、本当に日本の政治は大変なことになる。特にこれだけコロナやウクライナの問題があり、また、戦後日本の平和国家としての基礎を築いてきた専守防衛や非核三原則などの諸原則をもう一度立て直すために、何としても市民と野党との共闘が必要なんだというのを私は有権者の皆さんに訴えなければいけないと思っています。自公政治を変えるには、長野のような一人区選挙区では、野党はできる限りまとまって戦うべきです。再度その陣形を整え直していただけたことは本当に重い、私にとっても大変ありがたいことです。

国会で地元課題も積極的に取り上げ

Q この間の議会活動についてご紹介ください。

先日、飯田方面での対話集

テレビ局時代に安倍さんにインタビューをしました。が、第1次安倍政権のときの教育基本法の改正や他の政策にしても、どうかなあと感じていました。第2次安倍政権が安保法制を強行し、その直

安倍氏いなるの岸田総理大臣

Q この間の自公政治については評価はどうですか？

一つの国会期間中で主に総務委員会、内閣委員会で20回前後は質問していて、長野県の課題も積極的に取り上げています。例えば長野県でヘリコプターがないので、総務省としてこれをバックアップしてほしいとか、19号台風の災害の直後、予算委員会で例えば瓦礫の撤去に自衛隊を活用してくれないかとか要望しました。また、給食費は私会計が凄く多いので、それは公会計化して、さらに給食の無償化に向けて踏み出すべきだというような身近な問題もかなりやってきたつもりです。

後に国会に行きましたが、その後も共謀罪やIR法案など、次々と強行採決が繰り返されました。その一方で「モリカケ問題」不祥事がありました。「絶対権力は絶対的に腐敗する」という言葉がありますけど、まさに安倍さんは絶対権力であつたし、その時代に腐敗が進行したと思えます。そして今、安倍さんがやってきたことがことごとく国民に跳ね返ってきています。例えば、プーチンさんの北方領土問題、そしてアベノミクスによる円安、株とか資産を持っていく人は良いけれど、ほとんどの人が置き去りにされて、庶民は物価高に直撃されています。こういう問題も含めて安倍政治の弊害が顕著になってきていると思います。そこに核共有だったり、敵基地攻撃というようなことを声高に言うわけです。これまでもうまくいかなかった政治を糊塗しようとしているんじゃないかと思えます。そういう政治を推進してきた人が今なお発言力を持っていることに強い危機感があります。

重大な岐路に立つ改憲の動き

Q 憲法問題について対応はどう考えますか？

今国会になってから、憲法審査会が衆議院ではほぼ毎週開かれ、参議院でもほぼ同様です。基本的に予算委員会の最中も含めて開かれるようになってきています。今度の選挙で勝って、衆参ともに3分の2の勢力を優に超えるような状況になったら、改憲を本格的にやろうということでの地ならしだと思えます。これまで何もなかった岸田総理大臣ですから、そのもとで改憲を行うと根本的な政策が変えられるかもしれない。ですから

【2面に続く】